

# 育てよう 鏡野のよい子シリーズ



## 子どもを悪くする方法

世の中には、色々な本があると思いますが、私が驚いたのは、教育の世界にも変わった本があるということです。「大人がこういうふうにしたら、子どもがダメになります。」という本があるのです。大学の教授が、「教育の仕事を指すのであれば必ず読んでおきなさい。」と言われました。題名は『かにの本(子どもを悪くするてびき)』です。その中には、こういう場面が書いてあります。

### 「勉強をきらいにさせる方法」

(勉強をむりやりにさせなさい)

たけおは、国語の本の一課ずつを毎日暗唱するように父親に決められました。そうして、もし、つかえたり、ちっとも覚えていなかったりすると、それこそひどくぶたれるのでした。当然、たけおは勉強が嫌いになりました。勉強のおかげでさんざんぶたれるのですから無理もありません。今では、学校から帰るとすぐ、彼は道具を投げ出して外に飛び出し、なるたけ勉強しなくてすむように逃

げまわっています。その他に、

① 子どもの人間愛の心を枯らす方法  
(子どもの前で、しきりに人の悪口を言いなさい。)

② 子どもをわがままにする方法  
(子どもの望むことは、何でもかなくてやりなさい。) 以上ザルツマン原著『かにの本』一部引用

このように、子どものしつけの方法を逆説的に書いてあるのですが、教育の本質をわかりやすく説明してある本です。長い間、この仕事をしてきて、知らず知らずのうちに子どもを傷つけたたり、子どもの伸びる芽を摘んだりということがあったかもしれません。大学を卒業して二十数年経ちますが、大学の先生が言われた意味が少しずつわかってきたような気がします。

鶴喜小の子どもたちは欠席が少なく、今日も全員出席という日を何度も見かけます。明るく元気な子どもたちを前に、この仕事の責任の重さを強く感じます。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

鶴喜小学校 宗平 全雄

# のびのびひろば



ポカポカ陽気の中☀

ゆっくり ゆっくり...

## 戸外遊びだ～いすき!!



わあい♡



ハイ チーズ!!

4月4日に新入児10名を迎え、47名でスタートした鶴喜保育園。

お母さんと離れるのが寂しくて泣いていた子ども達も泣き止み、遊び始めます。

なかでも、3月末に完成したばかりの新しいすべり台は大人気!大きい子も小さい子も順番を守って元気いっぱい遊んでいます。

### 新しいすべり台で

### 絵本紹介



3匹のこぶたが保育園に入園しました。不安そうにしていた3匹が保育園を好きになるまでにお話です。

なかがわりえこ/文  
やまわきゆりこ/絵  
福音館書店



ブランコだ～いすき♡



おいしいごはんをつくらって...

(鶴喜保育園)